

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」南栗橋校		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 17日		2024年 12月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	2024年 11月 17日		2024年 11月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 8日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別支援でのお子様1人1人に合わせた、プログラムで進めている。また、その日のお子様の調子に寄り添いながら進めるので、関係性が深まり安心してご利用いただける。	その日の様子で、お子様と向かい合い(話し合い)ながら進めています。	職員1人1人の知識・技術の向上のため、研修を進めている。 教室内での情報共有を密に行い、より良い支援が提供できるように話し合いを重ねていく。
2	フィードバック等を通じて、保護者様の困り感にも対応できる。	お子様の様子を確認するとともに、保護者様の困り感も確認しています。寄り添いながら、一緒により良い解決策を見い出せるように進めています。	フィードバックだけで足りない部分は、管理者等が話を聞き対応していく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員の入れ替えで、お子様・保護者様が不安に感じることもある。	人員の安定が不可欠。	お子様・保護者様とのコミュニケーションを大切にし、関係性を深めていく。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 子どものサポート教室「きらり」南栗橋校

公表日 2025年 2月 15日

利用児童数 16

回収数 14

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14					
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	13	1				
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14					
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	12	2			先生によってかなり偏りがあるように感じます。	今後も個々の知識・技術の向上を研修等で図っていきます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	12	1		1		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	14					
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11				3	
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	9	2	1	2	固定化された内容が多い。	お子様の様子や保護者様のニーズを共有し、プログラムが固定化されないようにしていく。
	11 保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	7		3	4		必要に応じて対応させていただきたいと思います。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2	1	1	10	やったがありません。	資格取得などにも目を向け、ペアレントプログラムなども開催できるように検討をしていきます。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	11	3				
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10	2	1	1		FB や個別支援計画の更新の時などにお話しを伺っています。必要に応じて事業所内相談の対応もさせていただいております。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。		3	1	10		今後、機会があれば開催していきたいと思っています。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11	1		2		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13	1				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	6	1	1	6		ブログや掲示物にて活動概要や行事予定を発信しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7	1		6	マニュアルはあると思うが、訓練しているかはわからない。	マニュアルは作成し保管を行っております。契約時に緊急時の対応について説明を行っております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	4	1		9		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10			4		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11			3		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	14				先生方の入れ替えで、少し不安もありましたが本人は全く気にせず楽しんでいきます。	今後も笑顔いっぱいの安心できる場所づくりを目指していきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	14				いつも楽しく通っています。いろいろな先生に声をかけてもらえるのがうれしいようです。	お子さんが楽しいと思っていただけるよう常に考え対応をしていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	12	2			息子の拙い言葉を丁寧に拾っていただきありがとうございます。先生の入替わりが多いのが残念です。	貴重なご意見ありがとうございます。今後も、ご満足いただける環境作り・支援を目指していきます。

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	こどもサポート教室「きらり」南栗橋校	公表日	2025年 2月 15日
------	--------------------	-----	--------------

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		パーティションで区切り、個別のスペースを確保しています。また、児発専用のスペースも設置しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	2	職員がお休みの際は、ヘルプで人員体制を整えています。	職員の人数がもう少し多いと、お客様の安全・安心に繋がると思う。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1	段差のある所は、踏み台を置き安全に配慮しています。	構造上、トイレ前に段差があるので、踏み台を置き、安全に利用できるようにしています。けが防止のためコーナガードの設置をしております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		机や椅子は、お客様の体格に合わせて使用しております。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		お客様の特性に合わせた場所になるように配慮しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	1	ミーティングや打ち合わせで職員全体に共有しています。またPC上での共有も行っています。	PDCAサイクルの質を高め、さらに業務改善に努めるようにしていきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		事業所内評価・アセスメント等を年1回・フィードバック等でニーズ把握に努めています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		定期的にミーティングを実施している。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	2	第三者評価はありませんが、内部監査等で業務改善に繋げています。	発達支援研究所の協力を得て、業務改善に繋げていく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		勉強会やテーマ研修・事例検討会等の研修を行っています。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		フィードバックで受けたニーズに対して、その都度に共有し進めています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5		年1回のアセスメントを実施。またミーティング等で全体共有をしています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		ミーティングを設け、各職員の意見等を聞いた上で進めています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		ミーティング等で確認しています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		面談時の聞き取りや医師からの所見、相談支援事業所からの計画を参考にさせていただいています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		お子さんに合った項目を設定し、何を行っていくのか具体的に設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	1	ミーティング・打ち合わせで取り組みの様子等を共有・確認しています。	モニタリング・個別支援計画会議等を開催し、修正等が必要なことに関しては話し合いをしています。

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		ミーティング・打ち合わせで確認していません。達成度に応じて、ステップアップしています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4	1	基本、個別での支援を行っています。	個別支援を基本として、イベントで集団支援を行っています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		朝礼時に確認を行ったり、個別でも確認を行っている。また、スプレッドシートでの共有も行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	3	緊急の案件は終業前に全体共有するが、それ以外のことは翌日打ち合わせ・ミーティングで共有しています。また、PC上での発信・共有をしています。	気になることがあれば時間を作り 都度対応できるようにしていきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		PC上に記録を記載し、全体に周知・共有しています。またミーティング・打ち合わせで確認しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		モニタリング・個別支援計画会議で確認しています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	1	基本、管理者が出席し、必要に応じて指導員にも参加してもらっています。	教室内で調整を行いふさわしい者が参加しております。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1	必要に応じて、連携を図りながら進めています。	必要に応じて、連携を図りながら進めています。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	3		必要に応じて、連携を図りながら進めています。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	2		必要に応じて、連携を図りながら進めています。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	3	今後、機会があれば助言等をいただいています。	今後、機会があれば助言等をいただいています。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		5	個別支援のため、基本的に他児との交流する機会がありません。	個別支援が基本のため、行っておりません。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		フィードバック時に共有・確認を行っています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2		資格取得などにも目を向け、ペアレントプログラムなども開催できるように検討をしています
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		契約時に説明をしています。		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5				

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		フィードバック時に事業所以外の様子等を聞かせていただきながら対応しています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	5	保護者会等の実施はできておりません。	今後、保護者会等の開催を検討したいです。
	40	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		相談や申し入れについてはできる限り迅速に対応を行うように意識しています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5		HPやInstagramでの情報発信に加え、教室掲示も行っています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		個人情報は鍵付きのロッカーで保管しております。	今後も教室内で、声掛け等も行い注意していく。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	3	地域の人を招待する活動は行っていません。	個別療育を行っているため、地域へ出での活動は難しくなっております。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5			避難訓練等のお子様の参加も検討していく。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5		面談時に確認を行い、安全にご利用いただけるように進めています。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	5	食事提供はありません。	食事の提供はありません。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		ヒヤリハットがあった場合は、事業所内で共有・対策を話し合っています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		委員会実施後に共有・研修を行っています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5		身体拘束が必要な場合は、保護者様に説明し同意を得た上で行っています。		